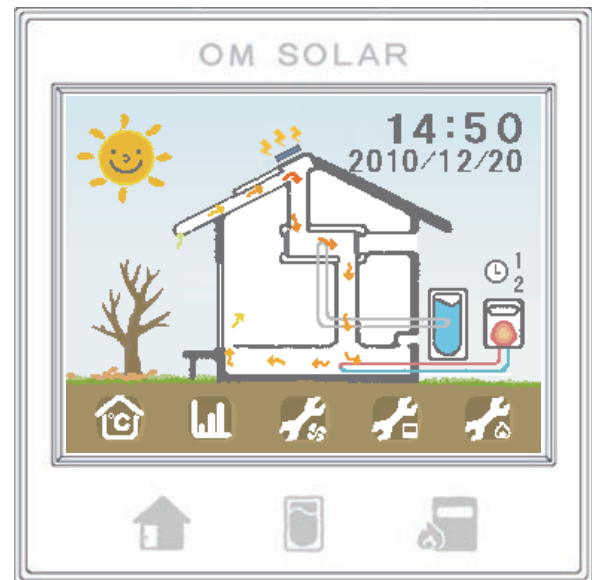
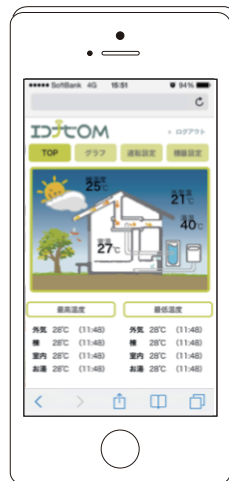


OM SOLAR SYSTEM

タッチパネルリモコン 操作説明書



⚠ 使用上の注意

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。
読み終わったら本書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管してください。



禁止

おこなってはいけない内容を告げるマークです。



感電

感電の恐れのある内容を告げるマークです。



分解禁止

分解してはいけない内容を告げるマークです。



注意

機器に損傷をあたえる恐れのあることを告げるマークです。

	<p>濡れた手でリモコンの操作をしないでください。感電、故障の恐れがあります。</p>		<p>小さなお子様には、一人で触らせないように注意してください。誤作動による事故や故障の原因となる恐れがあります。</p>
	<p>洗剤やシンナーでリモコンを清掃しないでください。塗装面の劣化や感電、故障等の恐れがあります。清掃は、乾いた布等で拭きとる程度としてください。</p>		<p>塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。</p>
	<p>お客様自身では、分解、修理、改造はしないでください。ショート、感電、誤作動の恐れがあります。</p>		<p>油煙や湯気をあてないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。</p>
	<p>水をかけたり、物や体をぶつけないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。</p>		<p>冬季に季節モードを「夏」にしないでください。凍結によりお湯採りコイルが破損する恐れがあります。</p>
	<p>とがったものや硬いもので操作しないでください。穴が開いて故障の原因になります。</p>		

目次

3	使用上の注意
6	OMソーラーのしくみ
8	タッチパネルリモコンの機能と名称
9	画面切替一覧
11	第1章 絵や温度で見る
15	第2章 グラフや数値で見る
19	第3章 各種運転設定
25	第4章 リモコンの設定
29	第5章 暖房・循環の設定
33	第6章 操作手順例
39	第7章 エラー表示について
43	第8章 Web(エコナビOM)による操作
46	故障かな?と思ったら
47	基本仕様

太陽電池を用いないタイプを設置のお客様へ

自立運転型ハンドリングには太陽電池を用いるタイプと、用いないタイプがあります。操作方法はどちらのタイプのハンドリングも同じです。本書はどちらにも適用できます。本書には太陽電池の働きや仕様について説明している箇所があります。あらかじめご了承ください。

OMソーラーのしくみ

OMソーラーは、下記のような部位で構成されています。（設計によっては異なる場合があります。）

ガラス付き集熱面

ガラスなし集熱面を通してきた空気をさらに温めます。

太陽電池

晴れた日に、ハンドリングへ太陽光発電より電気を供給します。

ガラスなし集熱面

取り入れた空気を太陽熱によって温めます。

集熱空気層

取り入れた外気がこの部分を通ることで温められます。

外気取り入れ口

外気の入口です。

室内循環口

室内空気の入口です。

ハンドリングボックス

OMソーラーの心臓部。
空気流れの切り替えや、送風をします。

タッチパネルリモコン

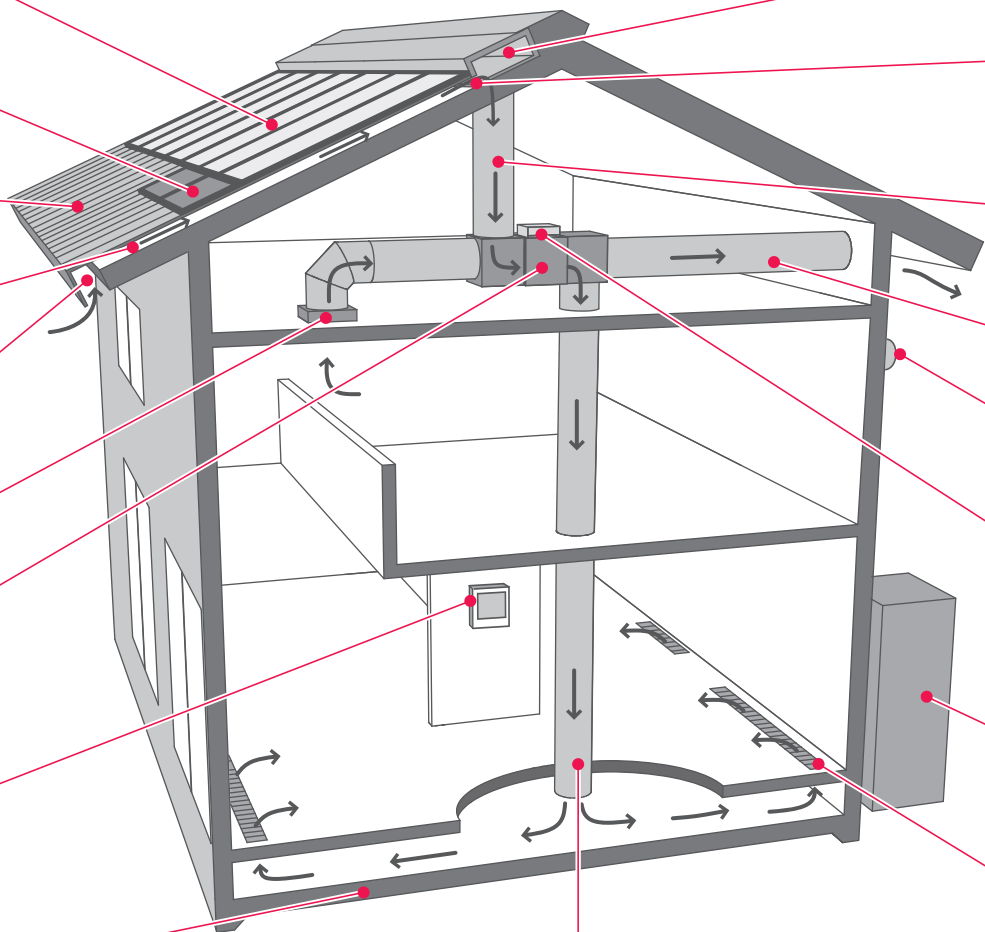
OMソーラーの運転の表示や操作をします。室温センサーが内蔵されています。

蓄熱コンクリート

昼に床下へ送られた熱を蓄えて、夜は自然に放熱します。

立ち下がりダクト

空気を床下へ送るときの経路です。



※このイラストはモデル図であり、各部位の配置は実際には異なります。

棟ダクト

集熱面の空気を集めてハンドリングボックスに運びます。

棟温センサー

集熱面の棟近くの空気温度(棟温)を制御ユニットに伝えます。

お湯採り用高温センサー

集熱空気と貯湯槽内の水の温度差を測り、貯湯槽に伝えます。※製品によって異なります。

排気ダクト

空気を室外へ排気するときの経路です。

外気温センサー

屋外の空気温度を制御ユニットに伝えます。

制御ユニット

リモコンや温度センサーからの信号を受けてハンドリングボックスを動かします。

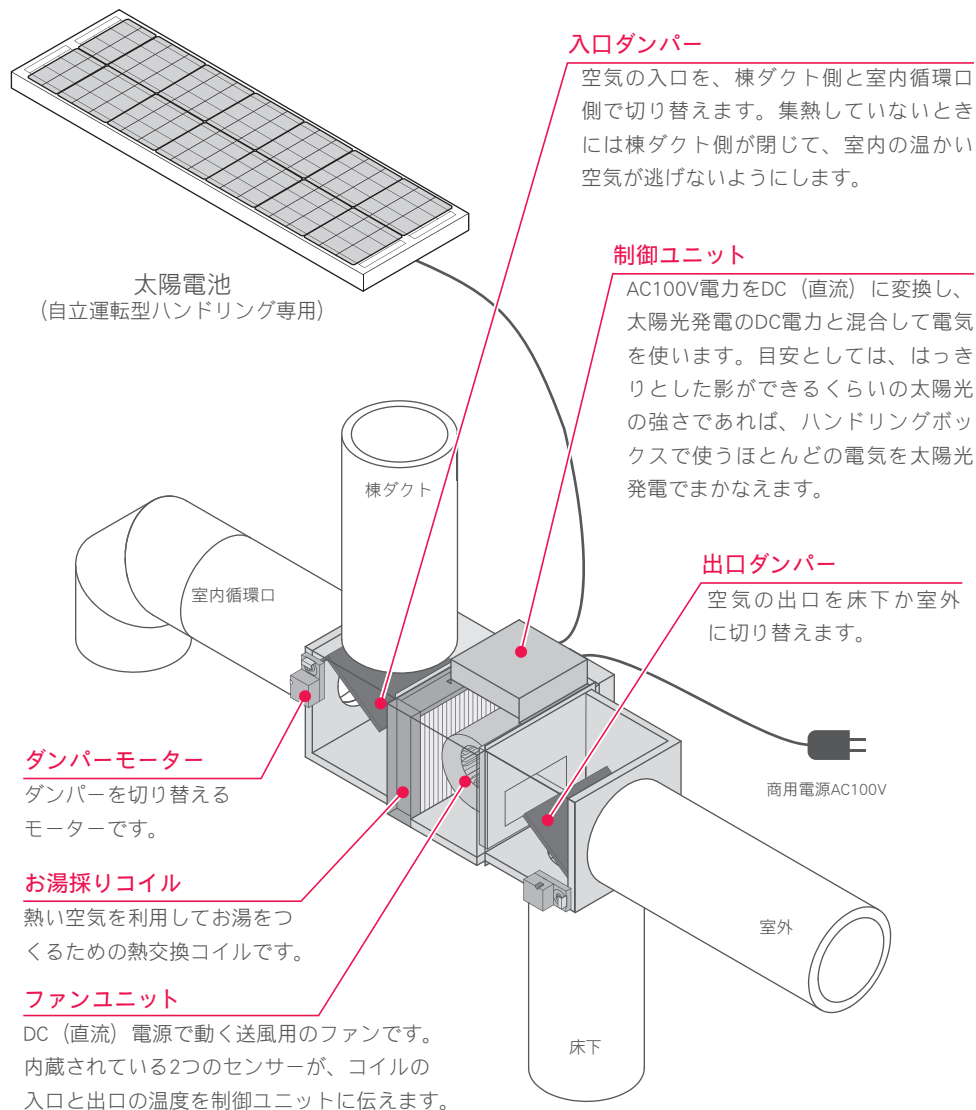
貯湯槽

お湯採りしたお湯を貯めておくタンクです。

床吹き出し口

床下に送られた空気の出口です。

ハンドリングボックスのしくみ



入口ダンパー

空気の入口を、棟ダクト側と室内循環口側で切り替えます。集熱していないときには棟ダクト側が閉じて、室内の温かい空気が逃げないようにします。

制御ユニット

AC100V電力をDC(直流)に変換し、太陽光発電のDC電力と混合して電気を使います。目安としては、はっきりとした影ができるくらいの太陽光の強さであれば、ハンドリングボックスで使うほとんどの電気を太陽光発電でまかなえます。

出口ダンパー

空気の出口を床下か室外に切り替えます。

ダンパーモーター

ダンパーを切り替えるモーターです。

お湯採りコイル

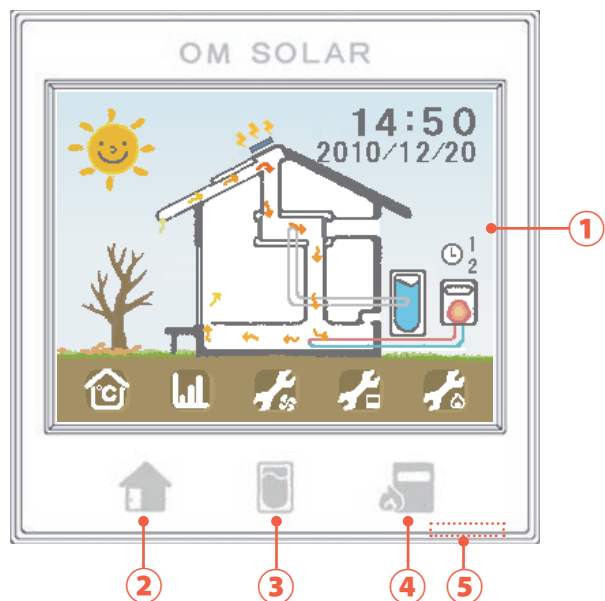
熱い空気を利用してお湯をつくるための熱交換コイルです。

ファンユニット

DC(直流)電源で動く送風用のファンです。内蔵されている2つのセンサーが、コイルの入口と出口の温度を制御ユニットに伝えます。

タッチパネルリモコンの機能と名称

タッチパネルリモコンはOMソーラーの運転を表示及び操作する機器です。
各部の名称と機能を紹介します。



ランプの色はイメージです。
白が赤みのある白色になるなど、製品によって色味が異なる場合があります。

① 液晶タッチパネルモニタ

画面切替や各種設定を、本画面に触れて操作します。

② OMソーラー運転ランプ

OMソーラーの運転パターンにあわせて、色が変わります（運転パターンとランプ色については、p13をご覧ください）。

また、エラー発生時には、赤色点滅します。



（「OM停止」ボタンを押し、ハンドリングボックスが強制停止している際は、黄色点滅します）。

③ お湯採りランプ

お湯採り運転を行った日はランプが点灯し、温度にあわせて色が変わります。ランプは21:00に消灯します。



湯温 —— 20℃ —— 30℃ —— 40℃ ——

※貯湯槽にセンサーを設置していない場合は、湯温に関わらず黄色のみ点灯です。

※貯湯槽を設置していない場合は、点灯しません。

④ 補助暖房ランプ

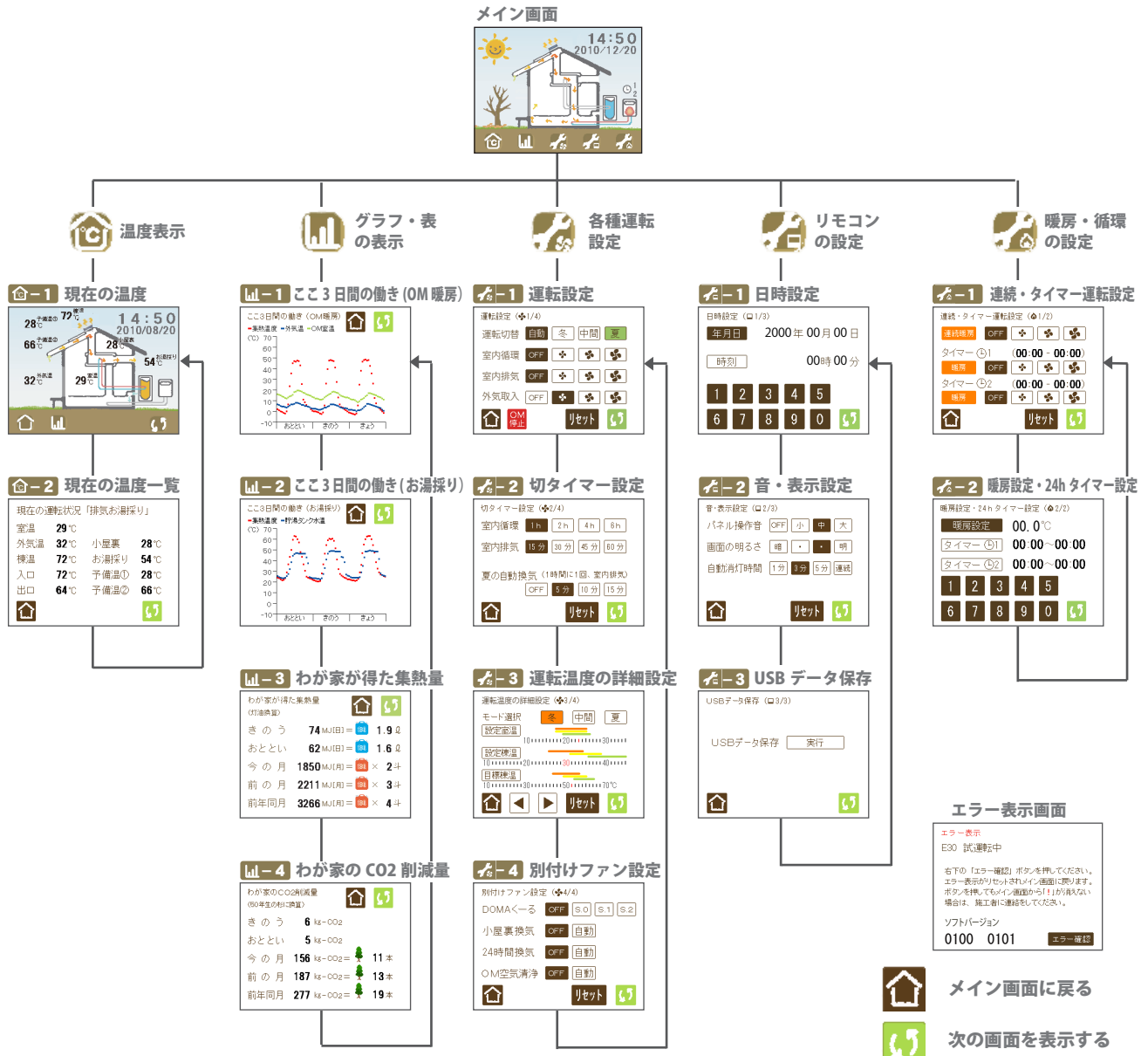
制御ユニットと連動している温水暖房が運転を行っているときに、ランプが赤色点灯します。

※補助暖房を設置していない場合は、点灯しません。

⑤ USBメモリ差込口

USBメモリを差込むことで、リモコン内に蓄積されたデータを取り出すことができます（詳しい操作は、p27をご覧ください）。

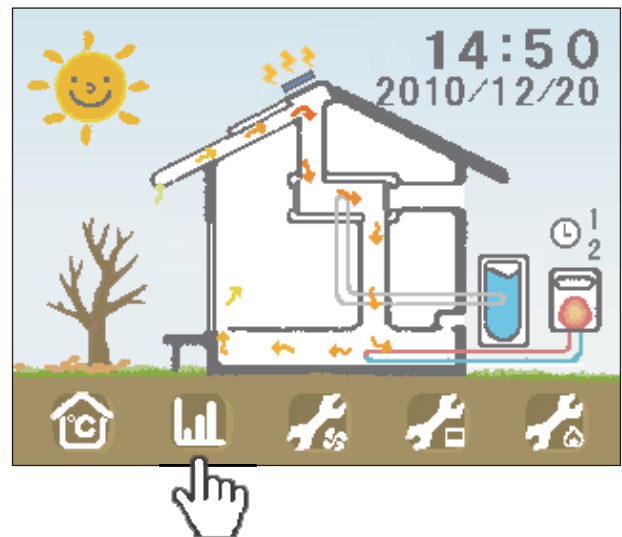
画面切替一覧



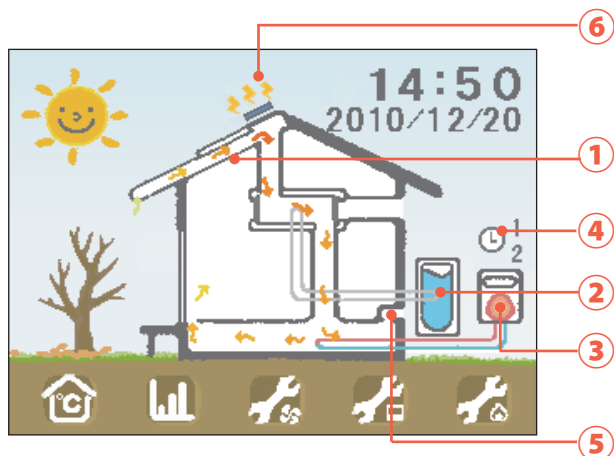
第1章

絵や温度で見る

OMソーラーの動き



🏠 メイン画面



操作ボタンと移動先



現在の温度



ここ3日間の働き (OM 暖房)



運転設定



日時設定



連続・タイマー運転設定

① **OM 空気流れ**
アニメーションで OM ソーラーの空気流れを表示します。(動きのパターンは次ページ参照)

② **お湯採り**
運転や温度によって色が変化します。



配管 お湯採り運転時は赤と青になります。

③ **補助暖房用ボイラー**
制御ユニットと連動している温水暖房が運転しているときに色がつきます。(運転していないときは、配管がグレーになります。)



④ **暖房・循環運転タイマー**
暖房や循環のタイマー設定を ON にしたときに表示されます。

⑤ **DOMA くーる**
アニメーションで DOMA くーるの運転を表示します。

⑥ **自立運転マーク**
太陽電池でハンドリングボックスを動かしている場合に表示されます。

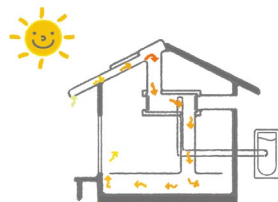


②③⑤⑥は、設備が設置されている場合に限り表示します。設置されていない場合は表示されません。

OMソーラーの運転パターン

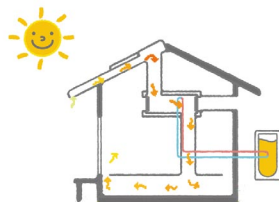
OMソーラーの運転パターンには、主に下記の種類があります。
 アニメーションやランプの表示で、運転パターンを見分けることができます。
 (記載されているランプの色はイメージです。ランプはLEDの個体差によって色味が異なる場合があります。)

集熱取り込み



赤

集熱お湯採り

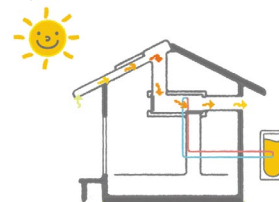


赤



(黄)※¹

排気お湯採り



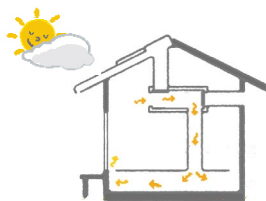
水色



(黄)※¹

※¹ お湯採りランプの色はp8をご覧ください。

室内循環



黄



緑

※OM空気清浄での
 運転時は緑色で点
 灯します。

室内排気



白

外気取り入れ (夏の夜間)



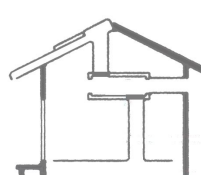
青

全閉停止



無灯

換気停止



無灯

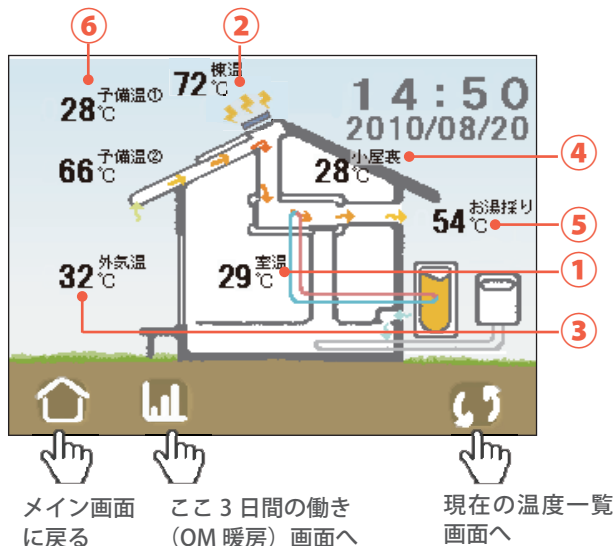
強制停止



黄 (点滅)

※OM停止ボタンを押
 すと黄色点滅で全閉
 停止になります。

🏠-1 現在の温度



この画面では、各部の温度が表示されます。

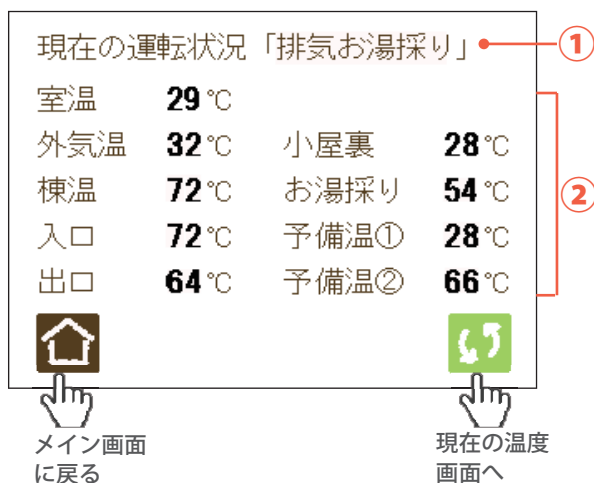
① 室内温度	リモコンもしくは室内に設置されたセンサーで、室内の温度を計測します。
② 棟温度	棟ダクトに設置されたセンサーで、棟の温度を計測します。
③ 外気温度	外壁に設置されたセンサーで、外の温度を計測します。
④ 小屋裏温度	小屋裏に設置されたセンサーで、小屋裏の温度を計測します。
⑤ お湯採り温度	貯湯槽に設置されたセンサーで、タンクの温度を計測します。
⑥ 予備温度① 予備温度②	センサーを設置した場所の温度を計測します。(2ヶ所まで)

④～⑥はオプションとなります。
オプションによるお湯採りや予備温度センサーを設置していない場合は、温度が表示されません。

📝 ノート

温度表示範囲は -50℃～120℃までです。
(室内温度は -50℃～60℃)

🏠-2 現在の温度一覧



この画面では、現在の運転状況と温度の一覧を表示させます。

① 現在の運転状況	現在の運転状況を示します。(状態は P13 を参照)
② 温度一覧	現在の温度状況を一覧で表示します。

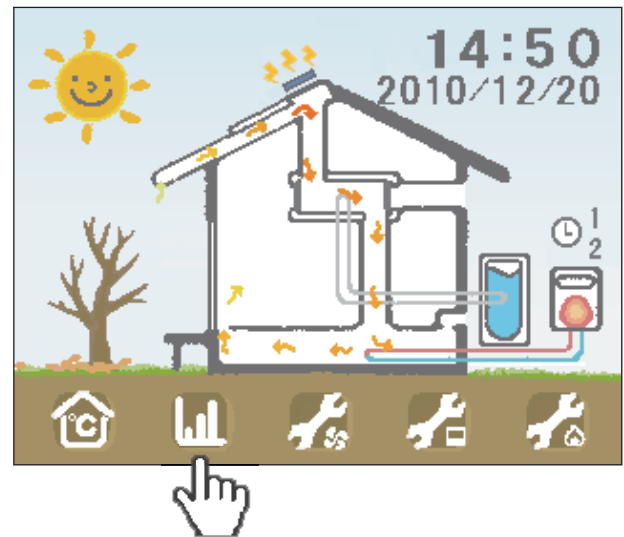
📝 ノート

温度表示範囲は -50℃～120℃までです。
(室内温度は -50℃～60℃)

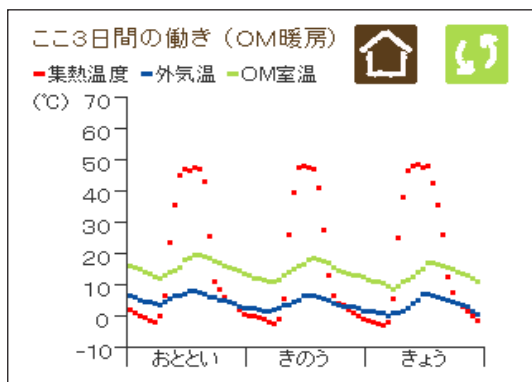
第2章

グラフや数値で見る

OMソーラーの動き



📊-1 ここ3日間の働き (OM 暖房)



メイン画面
に戻る



ここ3日間の働き
(お湯採り) 画面へ

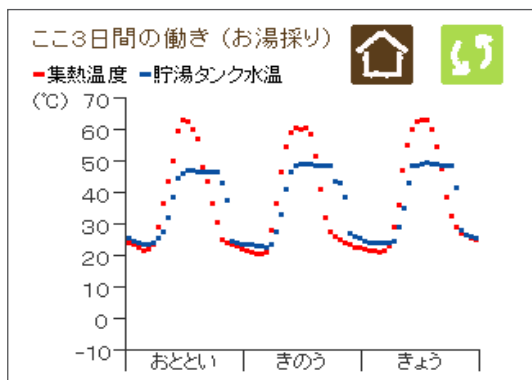
各温度の時間単位の温度をグラフで表示します。

- (赤) 集熱温度
- (青) 外気温
- (緑) OM 室温

📝 ノート

- ・「きょう」のデータは、今現在までのデータです。
- ・制御ユニットのコンセントプラグを抜いたり、停電等により電源供給が途絶えると、グラフは消去されます。

📊-2 ここ3日間の働き (お湯採り)



メイン画面
に戻る



わが家を得た集熱量
画面へ








OMソーラーによるお湯採りの働きをグラフで表示します。


- (赤) 集熱温度
- (青) 貯湯タンク水温


📝 ノート

- ・「きょう」のデータは、今現在までのデータです。
- ・貯湯槽にセンサーを設置していない場合や、OMソーラーと連動しない貯湯槽を設置している場合は表示されません。
- ・制御ユニットのコンセントプラグを抜いたり、停電等により電源供給が途絶えると、グラフは消去されます。

㊦-3 わが家が得た集熱量

わが家が得た集熱量 (灯油換算)		
きのう	74 MJ[日] =  1.9 ㍓	
おととい	62 MJ[日] =  1.6 ㍓	
今月	1850 MJ[月] =  × 2 斗	
前月	2211 MJ[月] =  × 3 斗	
前年同月	3266 MJ[月] =  × 4 斗	

 メイン画面に
戻る

 わが家のCO2削減量
画面へ


OMソーラーで得た集熱量(暖房とお湯採り)を灯油換算して表示します。

- ・灯油1㍓ = 37.255 MJ (メガジュール)
- ・灯油1斗 = 18㍓

 ノート
「今月」の集計は、その月の1日から昨日までの集計です。

㊦-4 わが家のCO2削減量

わが家のCO2削減量 (50年生の杉に換算)		
きのう	6 kg-CO ₂	
おととい	5 kg-CO ₂	
今月	156 kg-CO ₂ =  11 本	
前月	187 kg-CO ₂ =  13 本	
前年同月	277 kg-CO ₂ =  19 本	

 メイン画面に
戻る

 「ここ3日間の働き
(OM暖房)」画面へ

OMソーラー(暖房とお湯採り)によって削減されたCO₂量を表示します。また、CO₂削減量を、50年生のスギの木に換算して表示します。

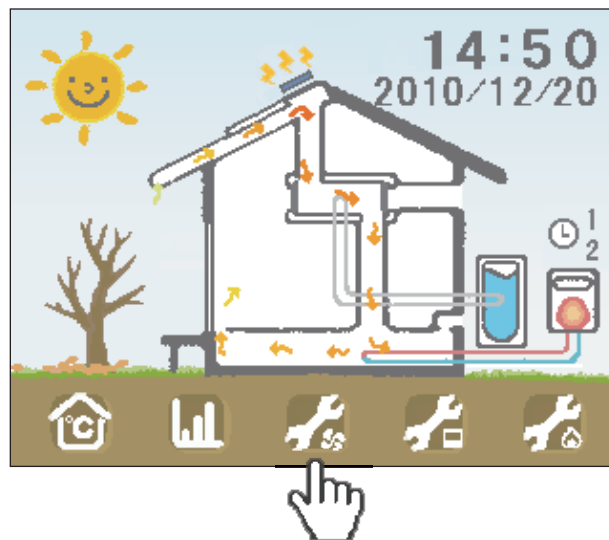
- ・CO₂削減量(kg-CO₂) = 0.08482 kg-CO₂/MJ
- ・50年生のスギ1本が1年間に吸収するCO₂の量
= 13.9 kg-CO₂/年

 ノート
「今月」の集計は、その月の1日から昨日までの集計です。

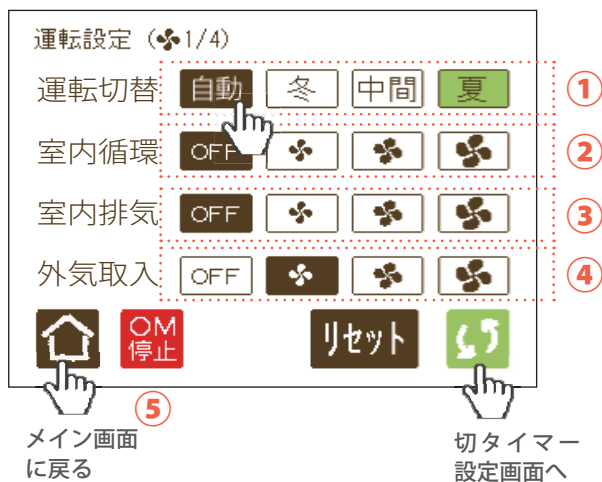
第3章

各種運転設定

リモコンを操作する



④-1 運転設定



この画面では、運転状況の設定を変更できます。

① 運転切替

運転には、季節モード（冬／中間／夏）を自動で判断する「自動運転」と手動で切り替える「手動運転」の2種類があります。

② 室内循環（風量設定：切／弱／中／強）

室内の空気を一定時間循環するファンの速度を設定します。

用途例

- ・ストーブなどで高いところにたまった暖気を循環させる
- ・少数の冷暖房機器の空気を家全体に回す

③ 室内排気（風量設定：切／弱／中／強）

室内の空気を一定時間排気するファンの速度を設定します。

📝 ノート

室内循環と室内排気は「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」「室内循環」をしていないときに利用できます。

④ 外気取入（風量設定：切／弱／中／強）

夏の夜、室温よりも外気温の方が涼しくなったときに、外気を取り込みます。

⑤ OM 停止

緊急の場合などに、OM ソーラーの動きを強制的に停止します（全閉停止状態）。ボタン表示は「再起動」ボタンに変わります。ハンドリングボックスを動かす場合は「再起動」ボタンを押してください。

リセット

このページの設定をリセットします。

運転切替：自動・中間

室内循環：OFF

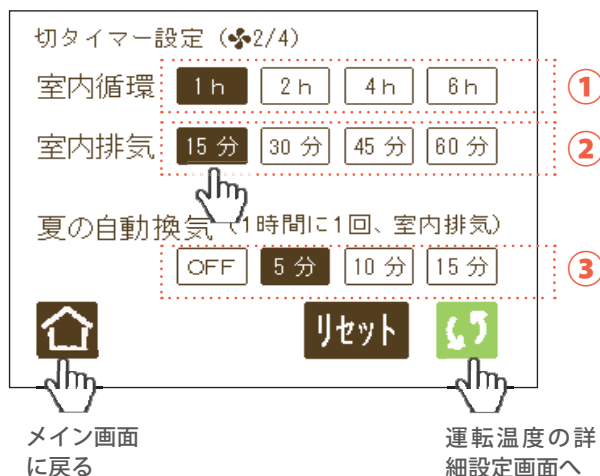
室内排気：OFF

外気取入：弱

📝 ノート

- ・季節モード（冬／中間／夏）以外は、白抜き文字が選択された状態です。
- ・お好みに合わせ、手動で設定を変更することができます。自動運転のまま「冬」「中間」「夏」ボタンを押すと、その日に限り選択した季節モードで動きます。翌日はまた自動判別が行われます。

🔧-2 切タイマー設定



メイン画面
に戻る

運転温度の詳
細設定画面へ

リセット

このページの設定をリセットします。

室内循環：1 h (1 時間)

室内排気：15 分

夏の自動換気：5 分

📝 ノート

白抜き文字が選択された状態です。

この画面では、🔧-1 の稼動時間を設定します。

① 室内循環

室内の空気を循環させる時間を設定します。
設定時間 (1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間) の中
から選択できます。

📝 ノート

「室内循環」の連続運転・タイマー運転は、🔧-1 で行
います。(→ p30)

② 室内排気

室内の空気を排気させる時間を設定します。
設定時間 (15 分 / 30 分 / 45 分 / 60 分) の中か
ら選択できます。

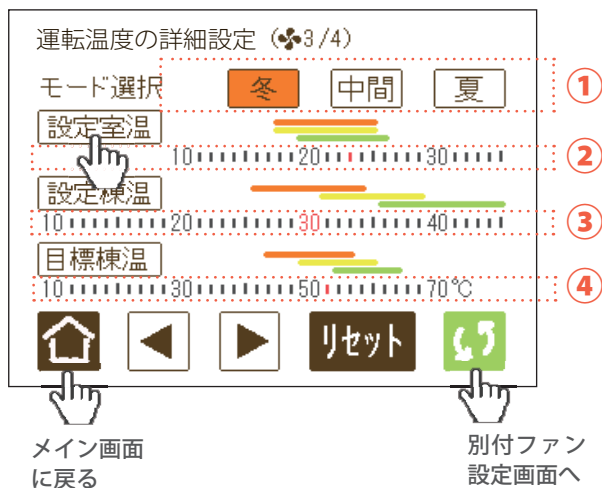
③ 夏の自動換気

季節モードが「夏」のとき、排気お湯採り運転中に
1 時間に 1 回、室内排気運転を行います。ここでは、
その運転時間を設定します。設定時間は (OFF / 5
分 / 10 分 / 15 分) の中から選択できます。

📝 ノート

- ・棟温度が 80℃を超えるときは運転しません。
- ・運転中に棟温度が 100℃を超えると設定時間の途中で
も運転を終了します。
- ・運転風量は、「中」で一定です。

4-3 運転温度の詳細設定



メイン画面
に戻る

別付ファン
設定画面へ

リセット

このページの設定をリセットします。

設定室温

「冬」「中間」「夏」ともに 23℃

設定棟温

「冬」30℃ / 「中間」35℃ / 「夏」40℃

目標棟温

「冬」50℃ / 「中間」54℃ / 「夏」64℃

ノート

- ・季節モード（冬／中間／夏）以外は、白抜き文字が選択された状態です。
- ・季節モード（冬／中間／夏）における参考設定温度範囲を下記色で示しています。

オレンジ：冬モードの参考設定温度範囲

黄色：中間モードの参考設定温度範囲

黄緑：夏モードの参考設定温度範囲

この画面で、運転温度の詳細な設定ができます。

※季節に関係なく、最初の画面は冬モードの設定画面が表示されます。

① モード選択

季節モード「冬」「中間」「夏」を選択すると、各モードで設定されている温度が表示されます。

② 設定室温

OMソーラーの運転が切り替わるときの基準となる室温です。季節モードごとに10～35℃の範囲で設定できます。（温度目盛 1℃）

③ 設定棟温

OMソーラーの運転が始まるときの基準となる棟温です。季節モードごとに10～45℃の範囲で設定できます。（温度目盛 1℃）

④ 目標棟温

OMソーラーの運転風量の基準となる棟温です。目標棟温に向け風量に変化します。季節モードごとに10～70℃の範囲で設定できます。（温度目盛 2℃）目標棟温を上げると風量は緩やかになります。

操作手順

1. 変更したい季節モード（冬／中間／夏）を押して選択します。
2. 変更したい温度名称（設定室温／設定棟温／目標棟温）を押して反転表示させます。
3. 温度メモリ（**|**:赤色）を変更したい温度の位置へ動かします。
◀ で温度が下がり、▶ で温度が上がります。
4. もう一度、温度名称（設定室温／設定棟温／目標棟温）を押し、反転を解除すると設定完了です。

運転パターンと温度

季節パターンと運転パターンをまとめた表です。例えば、冬モードの時、設定温度を 23℃にすると室温 22℃以下までは「集熱取り込み」をします。室温 23℃以上になった時に「集熱お湯採り」に運転が切り替わります。

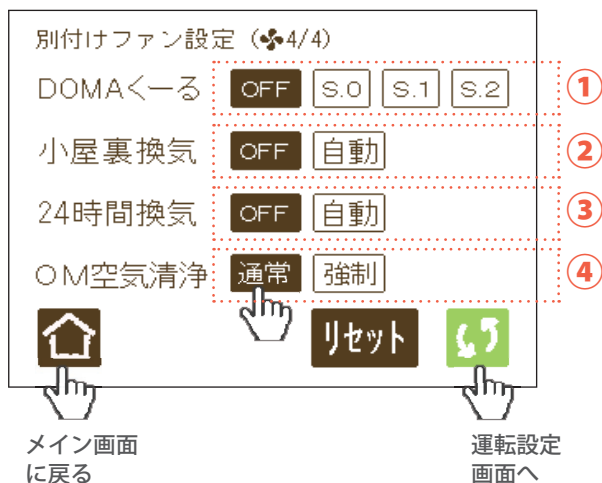
季節モード	設定室温	OMソーラー 運転開始温度条件	自動運転の 季節判断
冬	室温22℃以下は「集熱取り込み」 	室温23℃以上で「集熱お湯採り」 	棟温30℃以上(初期値) 朝5時における外気温が13℃以下
中間	室温12℃以下は「集熱取り込み」 設定室温 -10℃ 室温22℃以下は「集熱お湯採り」 	室温23℃以上で「排気お湯採り」 	棟温35℃以上(初期値) 朝5時における外気温が14℃～20℃
夏(昼)	室温12℃以下は「集熱お湯採り」 設定室温 -10℃ 室温13℃以上は「排気お湯採り」 	「自動換気」 1時間に1回、「室内排気」(※) 	棟温40℃以上(初期値) 朝5時における外気温が21℃以上
夏(夜)	室温22℃以下は「全閉停止」・「換気停止」 	室温23℃以上で「外気取り入れ」 	・昼の運転が停止 ・外気温「室温-1℃以下」

※ 「排気お湯採り」運転中に1時間に1回、「室内排気」運転を行います。設定時間は「切タイマー設定」画面(p21)で行えます。

✎ ノート

- ・運転停止時は「全閉停止（初期値）」になります。
- ・季節モードが中間及び夏の場合、「換気停止」に選択できます。詳しくは、施工工務店までお問い合わせください。
- ・お湯採り信号出力状態でも、集熱空気の温度と貯湯槽内の水温の差が7～9℃以下の場合には貯湯槽は運転しません。（貯湯槽の機種によって異なります。）

4-4 別付けファン設定



メイン画面
に戻る

運転設定
画面へ

リセット

このページの設定をリセットします。

DOMA くーる：OFF
小屋裏換気：OFF
24 時間換気：OFF
OM 空気清浄：通常

ノート

白抜き文字が選択された状態です。

この画面で、別付けファンの運転を設定します。

これらの機器はオプションです。機器を設置していない場合は設定しないでください。画面は「OFF」（通常）に固定します。

① DOMA くーる

DOMA くーるが M ソーラーと連動します。

[S.0]・・・「排気お湯採り」時に稼動

[S.1]・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」時に稼動

[S.2]・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」「外気取り入れ」時に稼動

② 小屋裏換気

小屋裏温度が 40℃を超えると、制御ユニットと接続した小屋裏換気扇が稼動します。

③ 24 時間換気

OM ソーラーと連動して、24 時間換気をします。

「排気お湯採り」、「室内循環」、「換気停止」または「全閉停止時」に稼動します。

④ OM 空気清浄

空気清浄機「OM エアフォール」を設置した運転パターンです。

「通常」・・・「循環運転」・「取入運転」時に空気清浄

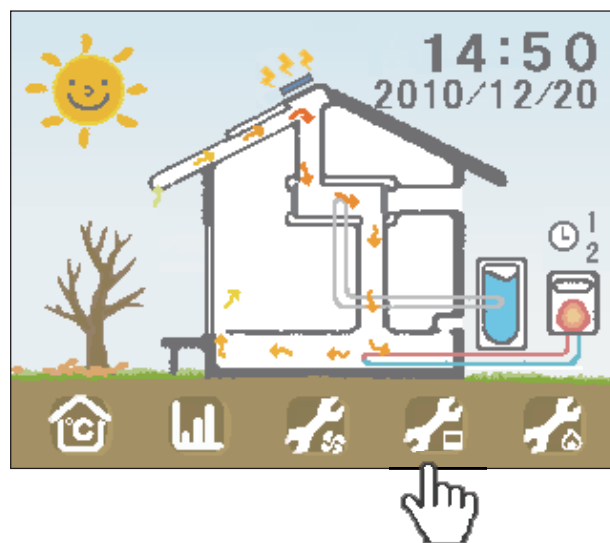
「強制」・・・夜間 OM 運転モードが「停止」になる場合でも強制的に「循環運転」にて空気清浄

※雨の日等、日中 OM ソーラーが動いていない場合や時間を指定して OM 空気清浄を行いたい場合は、「通常」にしてから「連続・タイマー運転設定」にして「循環運転」時間を設定ください。（ただし、「排気お湯採り」時は OM 空気清浄できません）。

第4章

リモコンの設定

リモコンを操作する



🔑-1 日時設定



この画面では、日時の設定を行います。

① 年月日

操作手順

1. 「年月日」ボタンを押して反転(白抜き文字)表示させます。
2. 変更する数字の下にカーソルが表示されます。
3. 「数字キー」で数字を打ち込みます。
▶ ボタンでカーソルを右移動させることができます。
4. 「年月日」ボタンを押し、反転を解除すれば設定完了です。

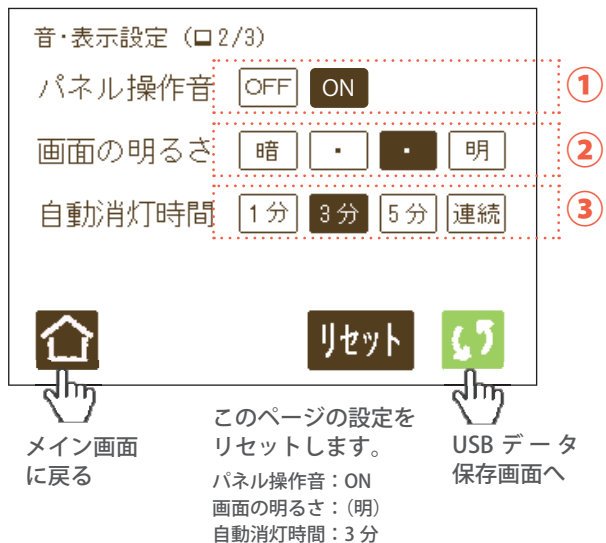
② 時刻

①の「年月日」設定と同じ操作手順で設定できます。

📝 ノート

エコナビOMを通じて一度インターネット環境に繋がると、自動的にタイムサーバーから正確な時間を取得するためリモコン側では操作できなくなります。時間を変更したい場合は、エコナビゲートウェイを外した後に電源等を一旦外してから、再度時間設定してください。太陽電池がついているお客様は、時間設定が有効にならない場合がございますので、施工工務店にお問い合わせください。(変更した後も、インターネットに接続すれば、正確な時間を自動取得されます。)

🔑-2 音・表示設定



この画面では、パネル操作音、画面の明るさ、リモコン画面の自動消灯時間の設定をします。

① パネル操作音

タッチパネルの操作部分に触れた時に鳴る音のON、OFFを設定します。

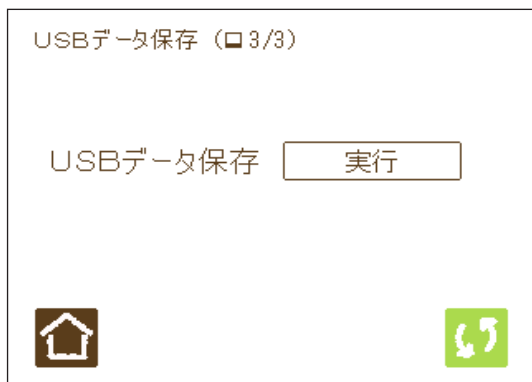
② 画面の明るさ

タッチパネルの明るさを設定します。(4段階)

③ 自動消灯時間

操作後タッチパネルが自動的に消えるまでの時間を設定します。

🔧-3 USB データ保存



この画面では、リモコン内に保存されている温度データ等を USB メモリに保存することができます。

USB メモリについて

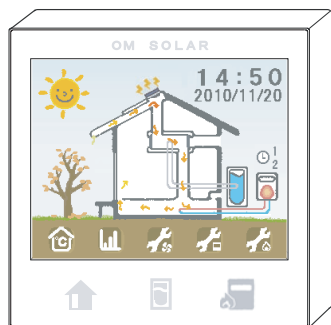
データ保存には、USB メモリが必要になります。

USB メモリの使用環境によっては、データ保存ができない場合があります。

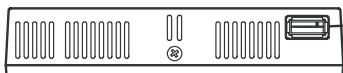
USB メモリ使用環境

- USB2.0
- FAT16/FAT32 (ファイル形式)
- メモリ容量 32GB 以下
- セキュリティ機能等のアプリケーションなし

※ファイル形式が異なったり、メモリ容量が大きい場合は、書込みできません。



USBメモリ



USB

③-3 USB データ保存

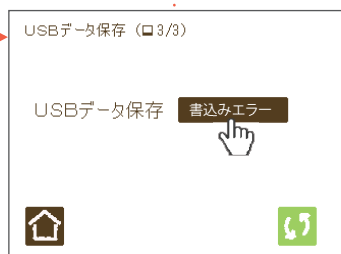
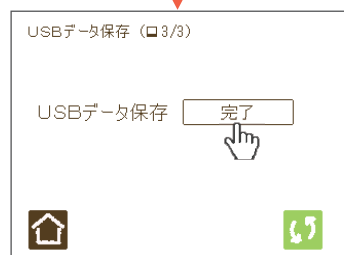
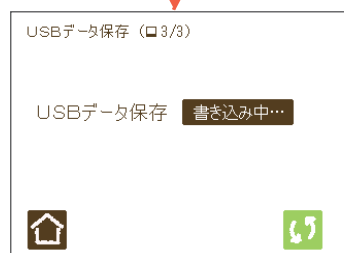


操作手順

1. この画面を表示させます。
2. USB メモリをリモコン下部の差込口に差し込んでください。
3. 「実行」ボタンを押すと USB メモリへの書き込みが始まります。
4. USB メモリへの書き込みが完了したら、「完了」ボタンを押します。
5. USB メモリをリモコンから取り外します。

ノート

- リモコン内には、1年間のデータが保存されます。リモコン内のデータは上書きされますので、それまでの間に USB メモリにデータを取り出してください。
- データ 1年間は約 3 MB ありますが、USB メモリの空き容量に注意してください。
- ファイル名は、日付 .csv となります (例: 2010 年 1 月 1 日の場合、 20100101.csv)。同一ファイル名のファイルが USB メモリ上にあると、上書きされますのでご注意ください。



うまくいかなかった場合

うまく USB メモリに書き込みができなかった場合、「書き込みエラー」が表示されます。

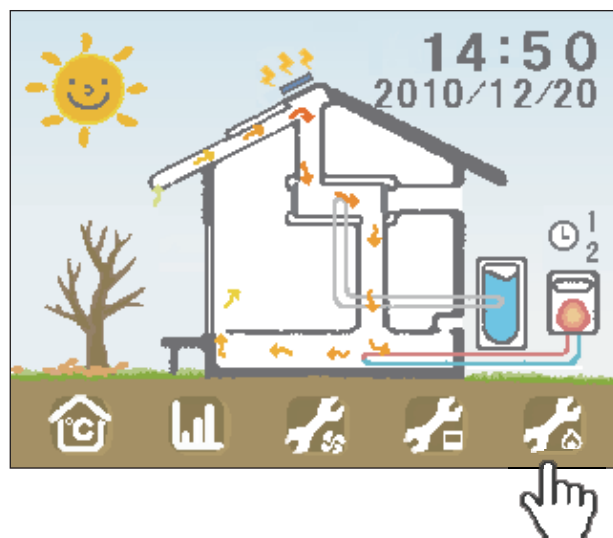
「書き込みエラー」を押してから、再度 USB メモリを挿しなおして「実行」を押してください。

書き込み完了。完了ボタンを押してから、USB メモリをリモコンから取り外します。

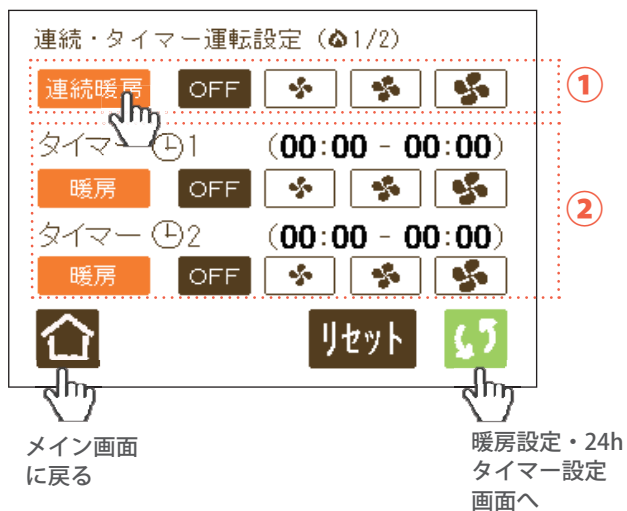
第5章

暖房・循環の設定

リモコンを操作する



🔧-1 連続・タイマー運転設定



メイン画面
に戻る

暖房設定・24h
タイマー設定
画面へ

リセット

このページの設定をリセットします。

連続暖房／連続循環：OFF
タイマー1：OFF
タイマー2：OFF

📝 ノート

白抜き文字が選択された状態です。

この画面では、補助暖房または循環運転の設定をします。

① 連続暖房／連続循環

「連続暖房」は、ハンドリングボックスのファンを動かして補助暖房を行います。補助暖房の設定温度よりも室温が低い時に暖房ボイラーが稼働します。

「連続循環」は、ハンドリングボックスのファンを動かして、室内の空気を循環させます。

操作手順

1. 「連続暖房」または「連続循環」を押し、運転させたいモード名称を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

📝 ノート

- ・運転を停止したいときは「OFF」を選択します。
- ・「室内循環」の設定 **🔧-1** が有効になっているときには、「室内循環」の風量が優先されます。
(→ p20、p21)

② タイマー1・2

暖房または循環運転の24時間タイマー設定を行います（風量設定：切／弱／中／強）。

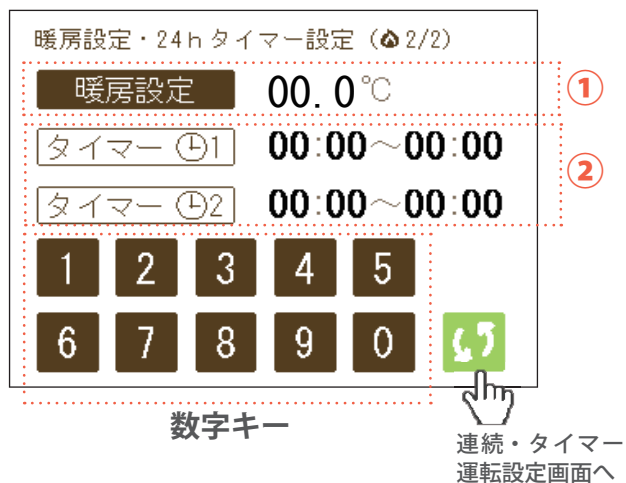
操作手順

1. 「暖房」または「循環」を押し、運転させたいモード名称を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

📝 ノート

- ・タイマーを解除したいときは「OFF」を選択します。
- ・タイマー時間を設定しても、タイマー運転が「OFF」になっている場合は稼働しません。
- ・タイマーで設定した時間内に「室内循環」の設定 **🔧-1** または「連続暖房」「連続循環」が有効になっているときには、「室内循環」の風量が優先されます。
(→ p20、p21、当ページ①)

④-2 暖房設定・24h タイマー設定



この画面では、補助暖房における設定温度及びタイマーにおける稼働時間の設定を行います。

① 暖房設定

補助暖房における設定温度を設定します。この温度よりも室温が低い時に補助暖房を行います。設定範囲は、15.0°C～35.0°Cです。(0.5°Cきざみ)

操作手順

1. 「暖房設定」ボタンを押して反転(白抜き文字)させます。
2. 設定したい温度を、数字キーで入力します。設定範囲外の温度は入力できません。
3. もう一度ボタンを押し、反転を解除すれば設定完了です。

② タイマー1・2

暖房及び循環運転の24時間タイマー運転を行う時間を、2通り設定できます。

操作手順

1. 「タイマー」ボタンを押して反転(白抜き文字)させます。
2. 変更する数字の下にカーソルが表示されます。
3. 「数字キー」で稼働させる時間を打ち込みます。
▶ ボタンでカーソルを右移動させることができます。
4. もう一度ボタンを押し、反転を解除すれば設定完了です。

📝 ノート

- タイマー設定時間は、00:00～23:59です。
- 設定範囲外の時間は入力できません。

📝 ノート

タイマー時間を設定しても、タイマー運転が「OFF」になっている場合は稼働しません。(→ p30)

第6章

操作手順例

リモコンを操作する

こんな時はどうしたら？（冬～春）

朝早く OM ソーラーの取り込みを開始したい

 - 3

設定棟温を、低め（例：25℃など）に設定します。

 ノート

- ・ 設定棟温を低くすると、「集熱取り込み」の運転時間が長くなります。（設定棟温を高くすると「集熱取り込み」の運転時間が短くなります。）
- ・ 目標棟温を低くすると、「集熱取り込み」の風量が多くなります。
- ・ 取り込み運転中室内が気流により寒く感じられるときは、目標棟温を高くすると風量が緩やかになります。
- ・ 夕方棟温度が下がり、室温よりも低くなった場合は、設定棟温の設定値に関わらず運転が終了します。（室温よりも低い外気は取り込みません）

朝は寒かったが、暖かくなってきたので「お湯採り」を優先させたい

 - 1

運転切替で、冬モードから中間モードにします。

 ノート

- ・ 自動モードのまま中間モードに変更した場合、その日だけ中間モードで動きます。翌日の朝5時の外気温を判定し、適切な季節モードに切り替わります。
- ・ 設定室温を高くすると、室温が設定室温以上になるまで、「集熱お湯採り」します。

梅雨入り前に、「集熱」した空気で床下換気したい

 - 1

運転切替で、一時的に冬モードにします。

 ノート

- ・ 自動モードのまま冬モードに変更した場合、その日だけ冬モードで動きます。翌日の朝5時の外気温を判定し、適切な季節モードに切り替わります。
- ・ 取り込みをされていて室内が暑く感じられるときは、設定室温を低くしてください。

こんな時はどうしたら？（夏）

室内の熱気を排気したい



室内排気の風量を（弱／中／強）より選択。



室内排気の切タイマー時間を（15分／30分／45分／60分）より選択。



- ・室内循環を同時に運転させると、室内循環が優先されます。
- ・棟温度が設定棟温以上の場合には、「室内排気」は運転しません。

放射冷却が利きすぎて冷えるので、夏の夜の外気取り入れは控えめにしたい



1. 外気取入の風量を（弱）に設定します。



2. モード選択の夏を選択し、設定室温を初期設定 23℃より高い室温（例：26～27℃）に変更します。



- ・室内循環、室内排気、連続循環、循環タイマー1、循環タイマー2のいずれかを同時に運転させると「外気取り入れ」は運転しません。

夏の雨の日に湿った外気を取り入れたくない



雨が降りそうな日は、外気取入の「OFF」を選択します。



- ・外気取入を OFF にすると、夜の放射冷却を利用した夏の夜の「外気取入」は運転しません。
- ・梅雨時には、OFF を選択しておくこと、湿った外気を取り込むことが防げます。

こんな時はどうしたら？（室内循環）

1 時間だけ室内の空気を循環させたい（切タイマーを利用）



室内循環の風量を（弱／中／強）より選択します。



室内循環の切タイマー時間設定の「1 h」を選択します。



「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」の運転をしているときには、室内循環は作動しません。

3 時間くらい室内の空気を循環させたい（連続循環を使用）



連続循環を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。

3 時間が経過後、「OFF」を選択し、循環運転を終了させます。



「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」の運転をしているときには、連続循環は作動しません。



- ・室内循環を同時に運転させると、室内循環が優先されます。
- ・室内排気を同時に運転させると、室内排気が優先されます。

こんな時はどうしたら？（OM と連動する補助暖房）

補助暖房を今すぐ稼働させたい



連続暖房を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。



連続暖房の運転を終了したいときには、OFF を選択してください。



- ・運転切替の季節モードが夏の場合には、連続暖房は稼働しません。
- ・室内循環を同時に運転させると、室内循環の風量が有効となりますが、暖房ボイラーは稼働します。
- ・室内排気を同時に運転させると、室内排気が優先されます。



- ・暖房設定の温度より室温が高い場合には、連続暖房は稼働しません。

ある時間帯に補助暖房を毎日稼働させたい（24h タイマーを利用）



1. 暖房を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。



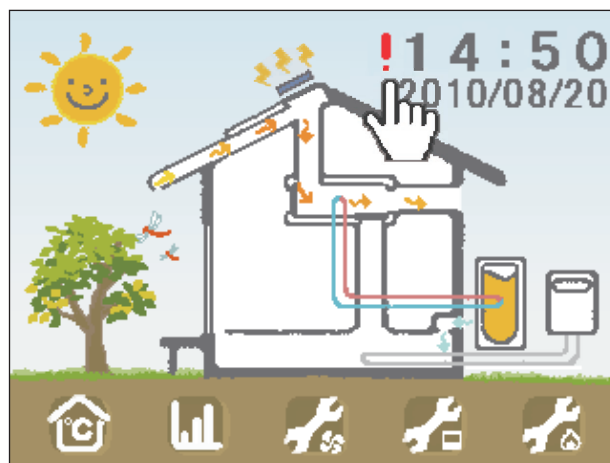
2. タイマーを押し、運転させたい時間帯を入力し、設定します。



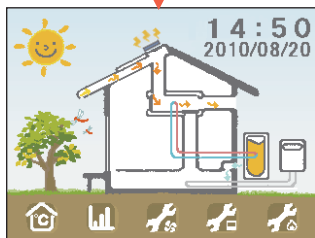
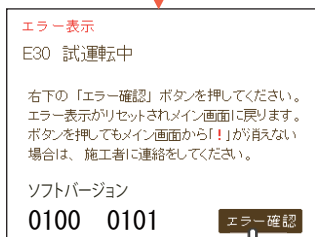
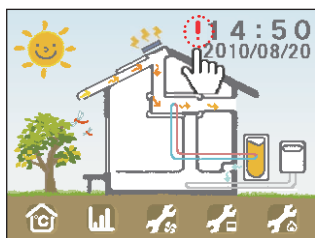
- ・連続暖房の運転中にタイマーの設定時間帯がくると連続暖房の風量が有効となります。
- ・タイマー①とタイマー②の時間帯が重なっている場合には、タイマー①の風量が有効となります。
- ・タイマーを作動させたくない日は、風量 OFF を選択してください。OFF と設定しても、タイマー入力した時間帯はそのまま保存されます。

第7章

エラー表示について





エラー表示



エラーが検知されると、メイン画面の時刻表示の左側に「！」マークが点灯します。「！」マークを押すと、エラー表示画面（左図）が表示されます。エラーの内容は、右表を参考に確認してください。

ノート

- ・「エラー確認」を押すと、元のメイン画面に戻ります。エラーの原因が改善されて解除されていれば、「！」マークは消えますが、エラーが改善されなければ「！」が引き続き点灯されます。
- ・エラーが発生している間は、リモコン下部にある  マークが赤色で点滅を続けます。
- ・OMソーラーが試運転中の時は、リモコン下部にある  マークが緑色で点滅を続けます。（エラーコード：E30）

引き続き異常が継続している場合は、「！」マークはそのまま表示されます。

異常が解除されれば、「！」マークは表示されません。

ノート

複数のエラーが同時に発生している場合、一番最後に発生したエラーコードが表示されます。

エラー表示一覧

エラーコード	内容	対処方法
E01	リモコン通信エラー	施工者に連絡してください。
E02	棟温センサー断線	棟温が -10℃以上で自動解除
E03	棟温センサー短絡	棟温が 120℃以下で自動解除
E04	室温センサー断線	室温が -10℃以上で自動解除
E05	室温センサー短絡	室温が 60℃以下で自動解除
E06	外気温センサー断線	外気温が -10℃以上で自動解除
E07	外気温センサー短絡	外気温が 120℃以下で自動解除
E08	湯温センサー断線	湯温が -10℃以上で自動解除
E09	湯温センサー短絡	湯温が 120℃以下で自動解除
E10	入口温度センサー断線	入口温度が -10℃以上で自動解除
E11	入口温度センサー短絡	入口温度が 120℃以下で自動解除
E12	出口温度センサー断線	出口温度が -10℃以上で自動解除
E13	出口温度センサー短絡	出口温度が 120℃以下で自動解除
E14	小屋裏温度センサー断線	小屋裏温度が -10℃以上で自動解除
E15	小屋裏温度センサー短絡	小屋裏温度が 120℃以下で自動解除
E18	子機間通信エラー	施工者に連絡してください。
E20	棟温異常	棟温が 80℃以下で自動解除
E21	ファンモーター異常	施工者に連絡してください。
E30	試運転中	施工者に連絡してください。
E39	フィルターサイン	リモコンで確認後、自動解除
E97 ~ E99	制御基板異常	施工者に連絡してください。

第8章

Web(エコナビOM)による操作

スマートフォンによる操作方法「取扱説明書」

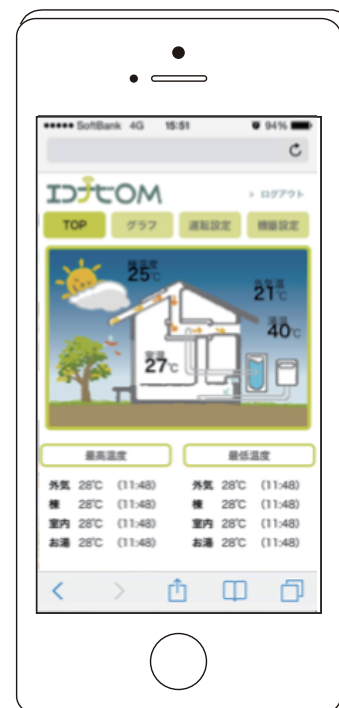


OM Solar Lite による操作方法「取扱説明書」



エコナビOM「操作と連携」

<http://econaviom.net>



エコナビ OM リモコンへの接続

エコナビ OM 専用の機器を設置する事で、Web 経由（エコナビ OM）でタッチパネルリモコンと同様の OM ソーラーの操作を行うことができます。

■ インターネット接続 （エコナビ機器がインターネットに繋がっている場合）

1. パソコンやスマートフォンの Web にて、「エコナビ OM」にアクセスします
エコナビ OM （ <https://econaviom.net> ）（OM ソーラーのホームページからでも繋がります）。
2. サイト右上の「操作と連携」ボタンを押し、「エコナビ OM リモコン」をクリックします。
3. 登録時に発行致しましたお客様専用の「ログイン ID」と「パスワード」を入力します。
4. エコナビ OM の TOP 画面が表示され、操作が可能になります。



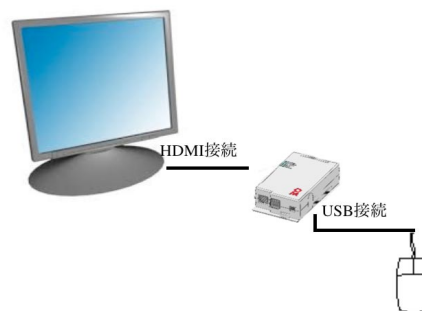
■ ローカル接続 （エコナビ機器がインターネットに接続されていない場合）

ご家庭のエコナビ機器がインターネットに接続されていない場合でも、以下の2つの方法にて操作を行うことができます。

方法1）TV による操作（HDMI 端子接続）

エコナビ機器とご家庭の TV を HDMI ケーブルで接続することで、USB マウスを使って操作を行うことができます。

1. エコナビ機器（GW：ゲートウェイ）と TV（ディスプレイ）を HDMI ケーブルで接続します。
2. エコナビ機器に USB マウスを接続し、電源を入れます。
3. TV にエコナビ OM の TOP 画面が表示され、USB マウスを使って TV 経由で操作します。



TV による操作

方法 2) エコナビ機器直接アクセス (LAN 接続)

ご家庭のルーターがインターネットに繋がっていない場合でも、家庭内 LAN 経由で直接エコナビ機器にアクセスして OM ソーラーの操作を行うことができます。

パソコンからの操作

1. ルーターに、エコナビ機器とパソコンを LAN ケーブルで接続し、それぞれに電源を入れます。

(windows 端末の場合)

2. ブラウザを開き、下記 URL に接続します。

例) <http://omhems00001>

※ 00001 部分は、エコナビ機器 (ゲートウェイ) の裏にある製造番号下 5 桁を入力

(Mac の場合)

2. ルーターの管理画面 (※ 1)、もしくは Mac 専用の IP アドレス検索ソ

フト (※ 2) を用いて、リストよりエコナビ機器の IP アドレス (HOSTNAME : OMHEMS00000 (数字は製造番号)) を探します。

※ 1) ご利用されているルーターの説明書に従って操作ください。

※ 2) フリーソフトの「LanScan」等を用い、LAN 内の IP アドレスを検索します。

3. 利用端末でブラウザを開き、上記で調べたエコナビ機器の IP アドレスを入力します。 例) <http://192.168.0.2>



モバイル (スマートフォン等) からの操作

1. 無線機能付のルーターとエコナビ機器を LAN ケーブルで接続し、モバイル (スマートフォン等) を無線ルーターの WiFi 環境に接続します。

2. 上記の Mac の場合と同様に、ルーターの管理画面経由もしくは、専用の IP アドレス検索ソフト (※ 3) にて、エコナビ機器の IP アドレスを探します。

※ 3) フリーソフトの「iNet」等

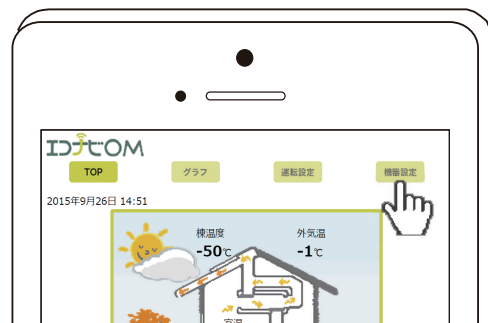
3. 利用端末でブラウザを開き、上記で調べたエコナビ機器の IP アドレスを入力します。 例) <http://192.168.0.2>

エコナビ OM における操作方法

「エコナビ OM」上における OM ソーラーの操作は、タッチパネルリモコンと同じです。各ボタンや設定は、本書の第 3 章および第 5 章に準じています。

詳しい操作方法については、P43 の QR コードまたは「エコナビ OM」の **操作と連携** より、取扱説明書をダウンロードをしてご確認ください。

※ Web 経由における操作の設定値反映には、若干のタイムラグが発生します。



故障かな？と思ったら

症状	ここを確認してください	関連ページ
自動運転のとき、 季節判断がおかしい	自動運転の季節判断は、毎朝5時の外気温から季節判定を行っております。気象条件により、季節判断がご希望の季節モードと異なることがあります。必要に応じて季節モードを変更してください。	20
冬・中間のとき、 室内が暑すぎる	設定室温が高いかもしれません。設定室温を低くすれば、より低い室温で「排気お湯採り」に切り替えます。ただし、設定室温を下げると、蓄熱コンクリートの温まり具合が少なくなります。	22-23
冬・中間のとき、 室内が寒い	設定室温が低いかもしれません。設定室温を高くすれば、より高い室温まで室内に空気を取り込みます。	22-23
夏の夜、 「外気取り入れ」 が動き始めない	まだ、外気温が高いかもしれません。夏の夜の「外気取り入れ」の開始条件（外気温が「室温-1℃」より低いこと）がそろっているか確認してください。	22-23
	設定室温が高すぎませんか。設定室温よりも現在の室温が低ければ、稼働しません。	22-23
	「運転設定」画面の「外気取入」が「OFF」になっていませんか。運転したいときは「弱／中／強」に切り替えます。	20
お湯採りができない	季節モード「冬」及び「中間」で、設定室温が高くなっていませんか。冬モードで設定室温または、中間モードで〔設定室温-10℃〕より室温が低い場合はお湯採りは稼働しません。	22-23
	OM側でお湯採り信号を送っている状態でも貯湯槽の制御で集熱空気と貯湯槽内の水の温度差が7~9℃以上ないと、運転しないことがあります。（貯湯槽の機種によって異なります。）	22-23
冬・中間のとき、 室内循環をさせたいのに 暖房が稼働する	「室内循環」運転（オフタイマー）と連続暖房、タイマー暖房が同時に設定されている場合、風量は「室内循環」運転（オフタイマー）の風量が優先され、暖房ボイラー稼働します。（室温が暖房設定温度以下の場合）暖房ボイラーを稼働させたくない場合は、連続暖房及びタイマー暖房を「OFF」にしてください。「連続循環」を稼働させる場合も、タイマー暖房を「OFF」にしてください。	30-31
E39フィルターサイン が出る	フィルターの目詰まりを防ぐために定期的にフィルターの掃除を行ってください。	40-41
日時設定ができない	エコナビゲートウェイを接続している場合、自動でインターネットから日と時間を取得するため、手動で設定はできません。	26

基本仕様

型式	小型		中型	
	OMD-05C2	OMD-05N2	OMD-12C2	OMD-12N2
熱交換コイル	あり	なし	あり	なし
寸法(mm)	502 (幅) × 435 (高さ) × 1089 (長さ)		551 (幅) × 485 (高さ) × 1,298 (長さ)	
重量(kg)	30	27	45	41
最高風量	8m ³ /min		12m ³ /min	
外装	アルミニウム合金亜鉛鋼板			
保温	硬質発泡断熱材			
電源	専用太陽電池もしくは商用電源 (AC100V)			
消費電力 (商用電力利用時)	42W	38W	96W	110W
使用条件	環境	場所：屋内 周囲温度：-10～45℃、相対湿度：90%以下 (結露なきこと)		
	流体	集熱空気温度：90℃以下 熱交換コイル熱媒：不凍液 (-10℃～80℃、結露なきこと)		
リモコン	寸法(mm)	120 (縦) × 120 (横) × 24 (厚さ)		
	電源	DC12V (制御ユニットから供給)		
太陽電池	種類	単結晶系太陽電池		
	寸法(mm)	355 (幅) × 1,155 (長さ) × 35 (厚さ)		
	重量(kg)	5.2		
	最大出力	55W		
	開放電圧	25.6V		
	短絡電流	2.94A		
	材質	枠：アルミ、表面：白板強化ガラス		

本仕様は、改善のため、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



自立運転型ハンドリング操作説明書
2017年5月1日

発行 OMソーラー株式会社
〒431-1207
静岡県浜松市西区村櫛町4601
TEL. 053-488-1700 (代)
<http://omsolar.jp>

※本印刷物の無断複写・複製等を禁じます。

0863-170501-1